



野菜の摂取量向上に向けた取組

保健医療局健康医務部健康対策課

あいち食育いきいきプラン 2020 の目標

項目	基準年(H26)	現状		目標 (R2)
野菜の摂取量 (成人 1 日あたりの摂取量)	265g	241g (H30)	306g (R元)	350g 以上

数値：愛知県分（政令・中核市除く）

1 現状と課題

「令和元年国民健康・栄養調査」結果によると、愛知県の野菜摂取量は目標値である 350g を下回っており、都道府県別野菜摂取状況においても平成 24 年は全国最下位、平成 28 年は下位群の状況であるため、野菜摂取量の増加を図る必要がある。

2 主な取組

(1) 令和元年度の取組実績と評価

新規事業として、県民が野菜摂取量の増加も含め、栄養バランスの良い食事を選択できる環境づくりを、関係機関との連携により推進する「食生活改善支援事業」に取り組んだ。

○研修会の開催（12保健所年1回）

飲食提供施設の事業者等に対して、自発的な食生活改善の取組みを促すための研修会を行った。

開催期間：令和元年9月から12月まで

参加者：飲食提供施設設置者及び管理者・調理担当者、食生活改善ボランティア、管理栄養士養成施設学生等

参加者数：398名

○実践活動支援の実施（各保健所5施設(機関・団体等)以上）

研修会参加者のうち、栄養バランスを考慮した食事提供等に取り組む意欲のある事業者等に対して、市町村や管理栄養士養成施設と連携し、メニューの改善等につながる提案を行った。

期間：令和元年11月から令和2年2月まで

施設数：97施設 回数：191回



研修会の様子



取組みの様子

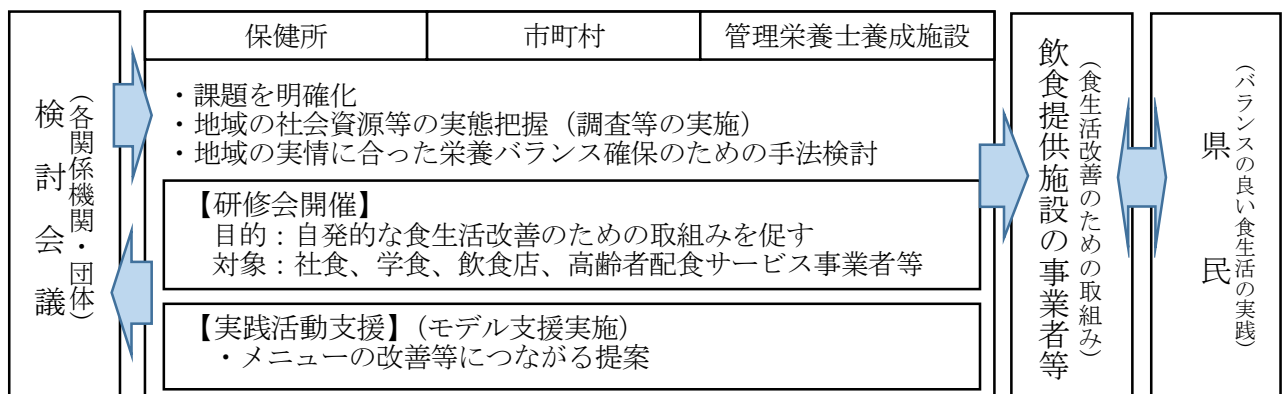
【評価】

研修会参加者において、自主的な取組みなども見られ、健康的な食環境整備への関心が高まった。また、事業を継続することで、事業の認知度を上げ、自発的な食生活改善の取組みを拡充する必要がある。

(2) 令和2年度以降の取組（予定）

引き続き「食生活改善支援事業」を実施し、県民が外食や配食サービス等を利用する機会においても、野菜摂取量の増加も含め、主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食事を選択できるように、飲食提供施設の事業者等を対象とする食環境の整備について支援を行う。

3 取組推進のための事業、体制等のイメージ





学校給食等における地域の産物の活用に向けた取組

教育委員会事務局学習教育部保健体育課

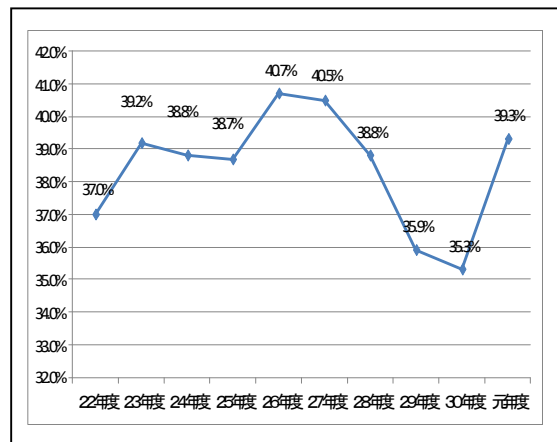
あいち食育いきいきプラン 2020 の目標

項目	基準年	現状		目標 (R2)
全食品数に占める県産食品数の割合	40.5% (H27)	35.3% (H30)	39.3% (R1)	45%以上
年間に使用した県産食品の種類	54 種類 (H26)	55 種類 (H29)	54 種類 (H30)	60 種類以上

1 現状と課題

平成 19 年度から、食育月間である6月に「愛知を食べる学校給食の日」を実施し、平成 23 年度からは、年3回（6月・秋・1月）に拡充した。しかし、①使用量が確保できない、②規格・サイズにあった食材が必要量確保できない、③価格が高い・安定していない等の理由により全食品数に占める県産食品数の割合は目標に届いていない。

地場産物の流通に大きな課題があるが、引き続き、地域の産物を学校給食に活用した食に関する指導が児童生徒の地域の理解に繋がるよう検証しながら、取り組んでいく必要がある。



全食品数に占める県産食品数の割合

2 主な取組

(1) 令和元年度の取組実績と評価

本県の学校食育では、「食を通じて豊かな心を育む」こと等をめざしており、その施策として「愛知を食べる学校給食の日」の年3回の実施や「わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」を行い、学校給食で地場産物の活用率アップを目標に取り組んでいる。

【評価】

コンテストでは、297校 11,455 点の応募があり、その中から10名の小学生が本選で調理を行い、内容とできあがり審査した。

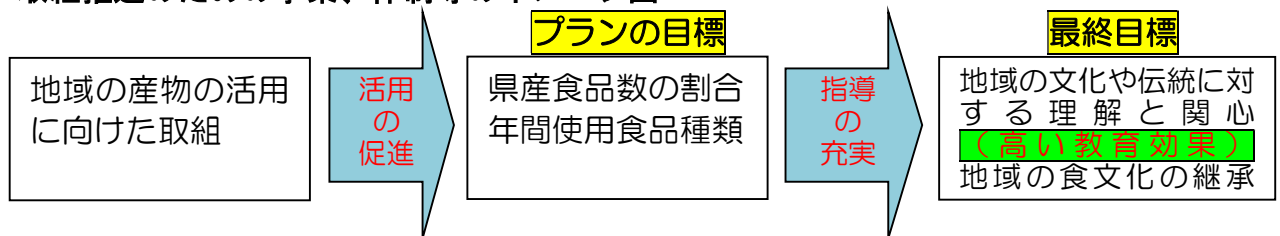


コンテストを通じて地域の食材と食文化の理解に繋げることができた。

(2) 令和2年度以降の取組（予定）

引き続き「愛知を食べる学校給食の日」を実施し、愛知の自然の恵みの中で採れる地場産物への理解を深め、地域に伝わる食文化や食の加工技術に触れることにより、地域をより身近に感じ、より豊かな食生活を営もうとする意欲を高める。

3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図





郷土料理等地域の食文化の継承に向けた取組

農業水産局農政部食育消費流通課

あいち食育いきいきプラン 2020 における位置づけ

Ⅳ 県や関係団体の取組

1 目指すべき姿に向けての取組

1-2 食を通じて豊かな心を育むために

(3) 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

イ 給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進

ウ 日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承

1 現状と課題

平成 25 年 12 月の「和食；日本人の伝統的な食文化」ユネスコの無形文化遺産登録を契機に、伝統的な食文化の保護・継承の重要性が高まっており、本県に伝わる郷土料理等の食文化の理解を促進し継承していく必要がある。

2 主な取組

(1) 令和元年度の取組実績と評価

- 「和食」や「郷土料理」、それを支えるあいちの農産物の良さを感じ、次世代への継承を考えるきっかけとするため、シンポジウムや調理講習会を開催した。

ア 「あいち食育いきいきシンポジウム」

和食に含まれる栄養や生活習慣病の関係、愛知県の食文化や郷土料理等についての講演を行った。(県民 104 名が参加。)

イ 「地元農産物を活用した和食調理講習会」

愛知県の農林水産物をふんだんに使った和食の調理実習や愛知の多様な伝統野菜、発酵調味料についての講話を行った。(県民 29 名が参加。)

- 国が実施する、地域の郷土食の歴史や由来、関連行事、レシピ等に関するデータベース『うちの郷土料理』の作成に協力し、地域の食文化の保護継承方法等について検討した。

【評価】

「シンポジウム」、「和食調理講習会」の参加者にアンケートを行った結果、ほぼ全ての参加者が「参考になった。」と回答があったほか、「学んだことを地域の料理教室で紹介したい。」等の感想もあり、各地域でのさらなる広がりが期待される。

(2) 令和 2 年度以降の取組 (予定)

- 県民を対象としたイベントにおいて、「あいちの郷土料理レシピ 50 選」*の紹介や郷土料理クイズ、豆つまみゲーム等を行い、食文化の理解を促していく。
- 食育推進ボランティアに、「あいちの郷土料理レシピ 50 選」を活用した料理教室等で、県内各地域での食文化継承に取り組んでもらうための支援及び働きかけを行っていく。

3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図

あいちの郷土料理レシピ50選

- ◆ 「料理教室」での活用でさらなる伝承(講師：食育推進ボランティア等)
- ◆ 「インターネット」への接続(食育ウェブサイト「食育ネットあいち」等)
- ◆ 「観光」への活用



<おわらい>

- ★次世代への食文化の伝承
- ★都市と農村の交流促進
- ★地域振興

※「あいちの郷土料理レシピ 50 選」

愛知県に伝わる郷土料理のうち、地域で脈々と受け継がれている料理を選定し、それにまつわる歴史、いわれ、文化、レシピ伝承活動等について取りまとめたレシピ集。(平成 28 年度作成)





食育推進ボランティアの育成と活動の充実に向けた取組

農業水産局農政部食育消費流通課

あいち食育いきいきプラン 2020 の目標

項目	基準年 (H26)	現状			目標 (R2)
		11.3万人 (H29)	10.7万人 (H30)	11.1万人 (R1)	
食育推進ボランティアから食育を学んだ人数	9.1万人				10万人以上/年間

1 現状と課題

「愛知県食育推進ボランティア（以下「ボランティア」という。）は、県民が健全な食生活を実践できるよう、県内各地域で様々な食育活動を行っており、令和2年3月末時点では、1,004名が登録している。

各地域で食育活動に取り組んでいただき、令和元年度もプランの目標である「年間10万人以上」を達成することができた。

また、令和元年度は、名古屋市を除く県内の小学校（特別支援学校等を含む）にボランティアの認知度やニーズを調査し、「機会があれば活用してみたい」という意見を多く得た。今後は、マッチングを含め、より効果的な支援方法を検討し、継続的な取組となるよう県として必要な支援を行っていく。

2 主な取組

(1) 令和元年度の取組実績と評価

「あいち食育いきいきプラン2020」にある「日本型食生活の推進、郷土料理等地域の食文化の継承」を重点的なテーマとし、以下の取組を行った。また、ボランティアの知識及び技術の向上を目指した講習会等の機会を提供した。

- ・「あいちいきいき食育シンポジウム（104名、うちボランティア17名）」
- ・「地元農産物を活用した和食調理講習会（29名、うちボランティア19名）」
- ・「地域食育推進ボランティア研修交流会（7カ所：119名）」

【評価】

テーマごとの啓発活動人数は、「食文化継承」が41千人、「食品ロス削減」が10千人、「野菜摂取量向上」は57千人であったが、さらに意識的な取組を高める必要がある。

(2) 令和2年度以降の取組（予定）

地元農産物を用いた無駄や廃棄の少ない調理をテーマにした「調理講習会」を開催する予定である。

また、「地域食育推進ボランティア研修交流会」を開催し、ボランティアの知識及び技術の向上を図る。

3 取組推進のための事業、体制等のイメージ図



地域食育推進ボランティア研修交流会